

2007年度 決算説明会

2008年 5月15日

ユニチカ株式会社



UNITIKA
We Realize It!

2007年度 決算概要

I. 2007年度 決算実績

(億円)	06年度		07年度		増減	
	中間	通期	中間	通期	中間	通期
売上高	1,041	2,206	1,117	2,347	+76	+142
営業利益	54	112	45	116	▲ 9	+4
経常利益	42	85	31	80	▲10	▲4
当期純利益	20	26	17	16	▲ 3	▲10

◆前年比 売上高・営業利益は増加

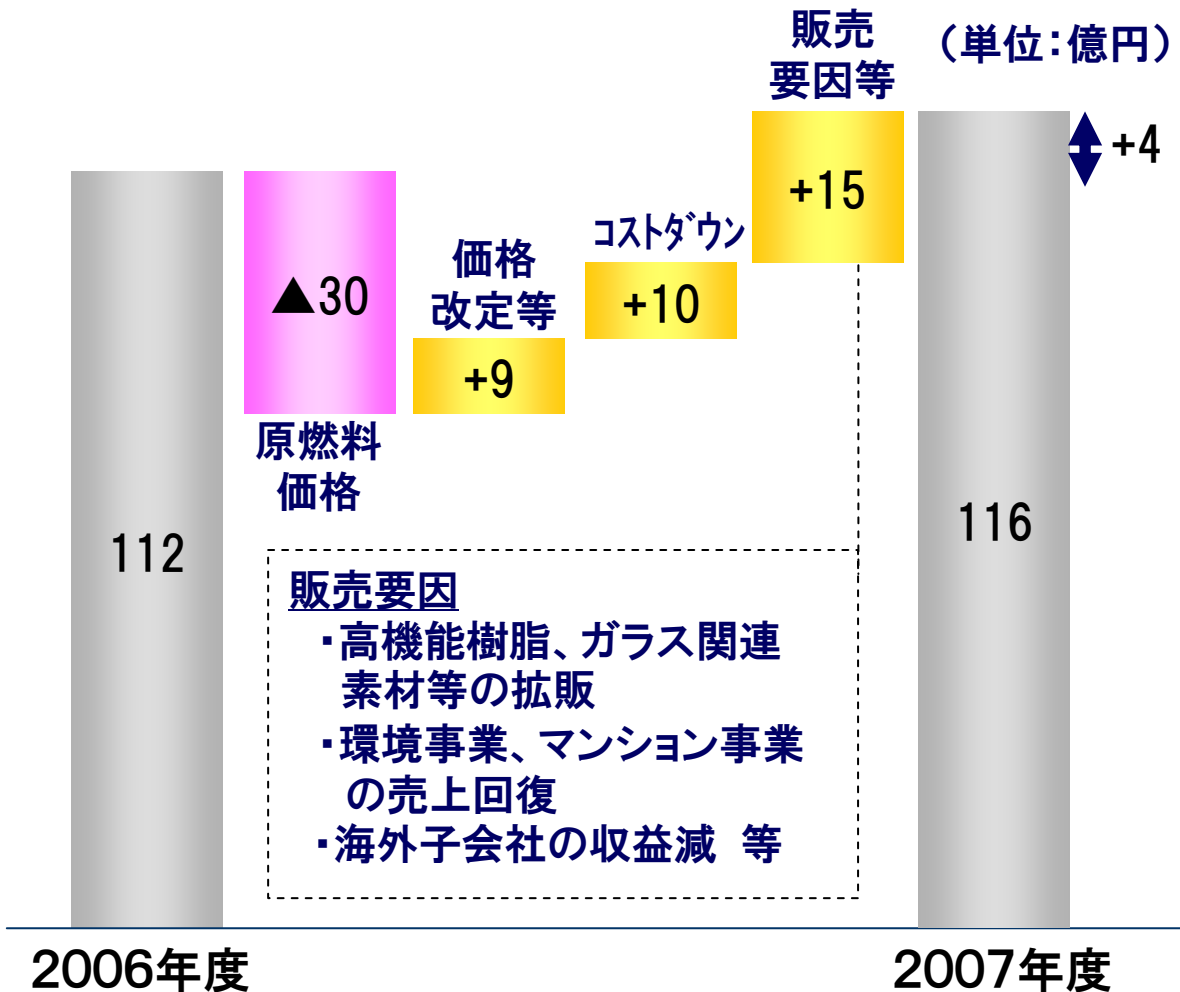
- ・高分子事業、機能材事業での増販やマンション販売の収益増、環境事業にて既受注案件の収益計上が進んだこと等により増収
- ・原燃料価格高騰に対し価格改定が十分に及ばず営業利益は若干増

◆株式売却など営業外利益の減少等により経常利益が減少

「棚卸資産の評価に関する会計基準」早期適用等で当期純利益が減少

営業利益の増減要因分析

I. 2007年度 決算実績



原燃料価格高騰
の影響に関して

前年比▲30億円程度



製品価格改定、構成改善で原料価格上昇の40~50%程度吸収

コストダウン効果は10億円弱

財務及びキャッシュフロー

I. 2007年度 決算実績

(億円)	2007年 3月末	2008年 3月末	増減	
資産合計	3,284	3,090	▲193	<ul style="list-style-type: none"> ・借入金返済、在庫評価損、株式売却等により資産減少 ・有利子負債削減(▲42億円 ⇒1928億円) ・自己資本比率 10.9%
流動資産	1,401	1,338	▲63	
固定資産	1,883	1,753	▲131	
負債合計	2,884	2,707	▲178	
純資産合計	400	384	▲16	

(億円)	06年度	07年度	
営業CF	119	81	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入債務の減少 ・増販要因に伴う売上債権の増加等
投資CF	▲71	▲55	
財務CF	▲38	▲51	
現金等残高	155	132	

セグメント別収益変動まとめ

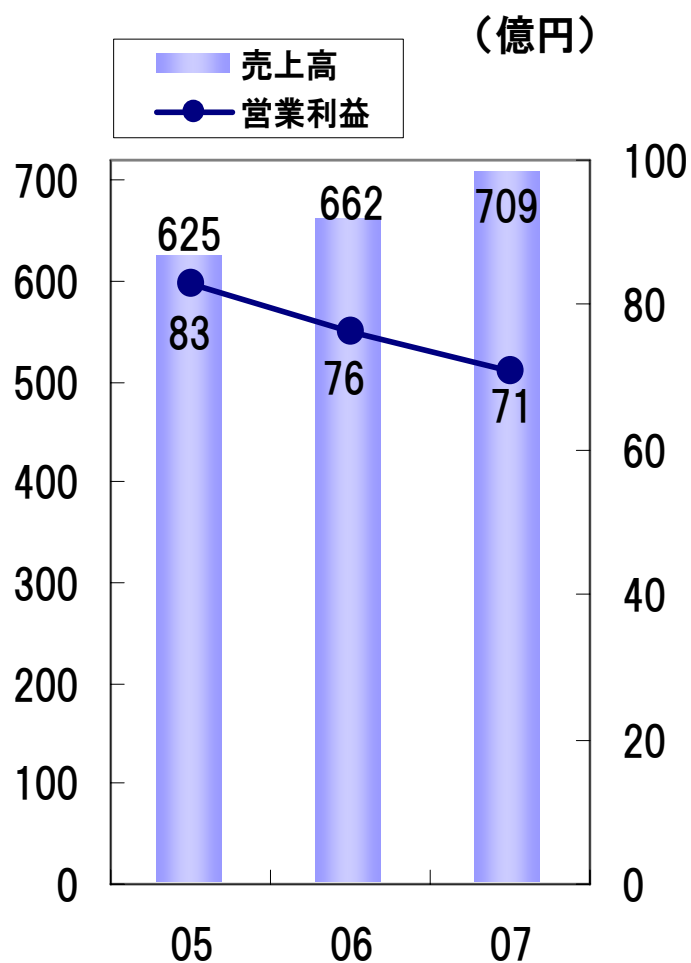
I. 2007年度 決算実績

(億円)	売上高			営業利益		
	06年度	07年度	増減	06年度	07年度	増減
高分子	662	709	+47	76	71	▲ 6
環境・機能材	289	352	+62	23	32	+ 9
繊維	1,032	1,046	+13	21	17	▲ 4
生活健康・その他	222	241	+19	22	29	+ 7
消去・全社				▲30	▲33	▲ 3
合計	2,206	2,347	+142	112	116	+ 4

セグメント別収益変動

I. 2007年度 決算実績

高分子事業

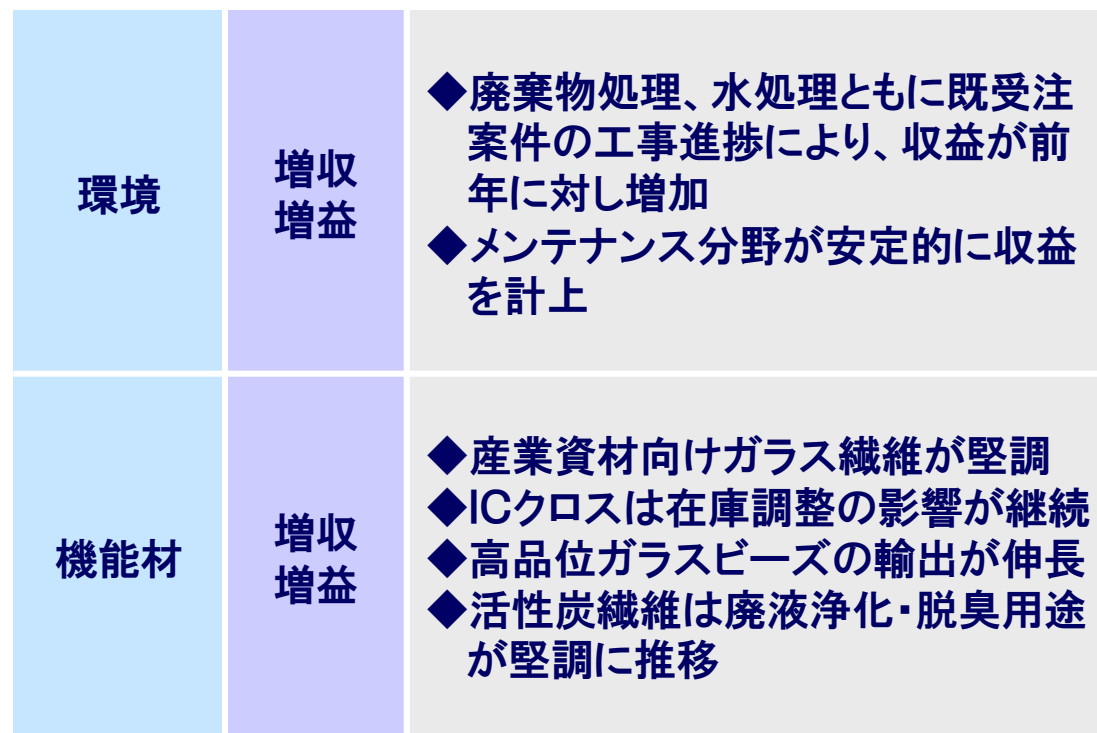
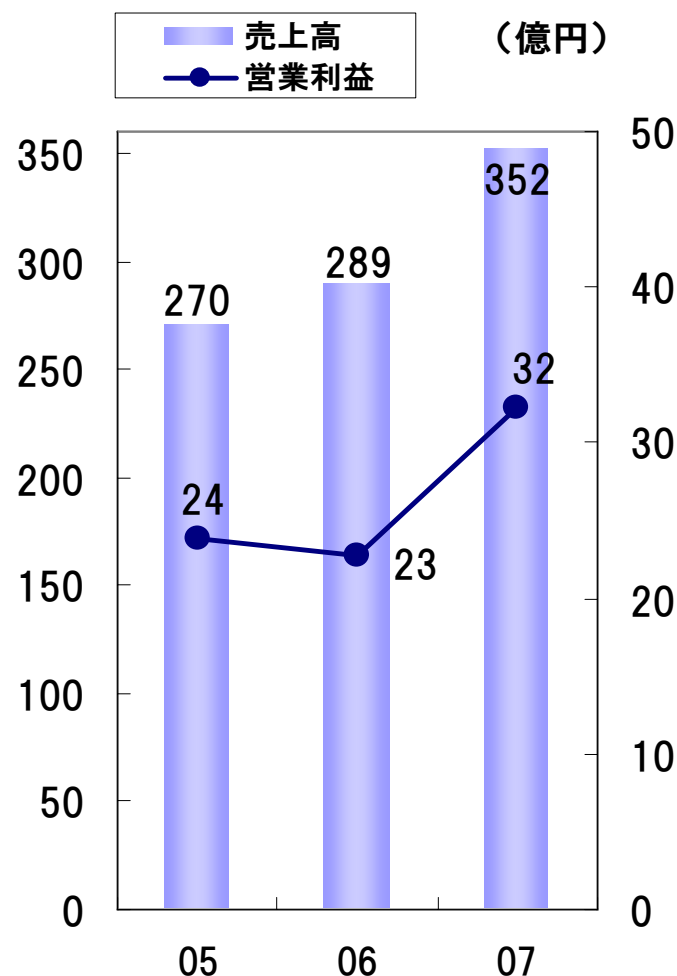


フィルム	増収減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆ナイロンフィルムは国内外の増販で売上増、原燃料価格高騰に対し価格改定を実施しているが十分に吸収できず減益 ◆エステルフィルムは包装分野伸長
樹脂	増収微増益	<ul style="list-style-type: none"> ◆ポリアリレート樹脂が自動車、IT関連分野を中心に販売拡大 ◆ナイロン、PET樹脂は原料価格高騰の影響で採算悪化
不織布	増収減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆スパンボンドはオムツ、自動車内装材用途、輸出関連等が堅調、農業・ルーフィング用途等が苦戦 ◆スパンレースは衛材・化粧雑貨用が堅調に推移

セグメント別収益変動

I. 2007年度 決算実績

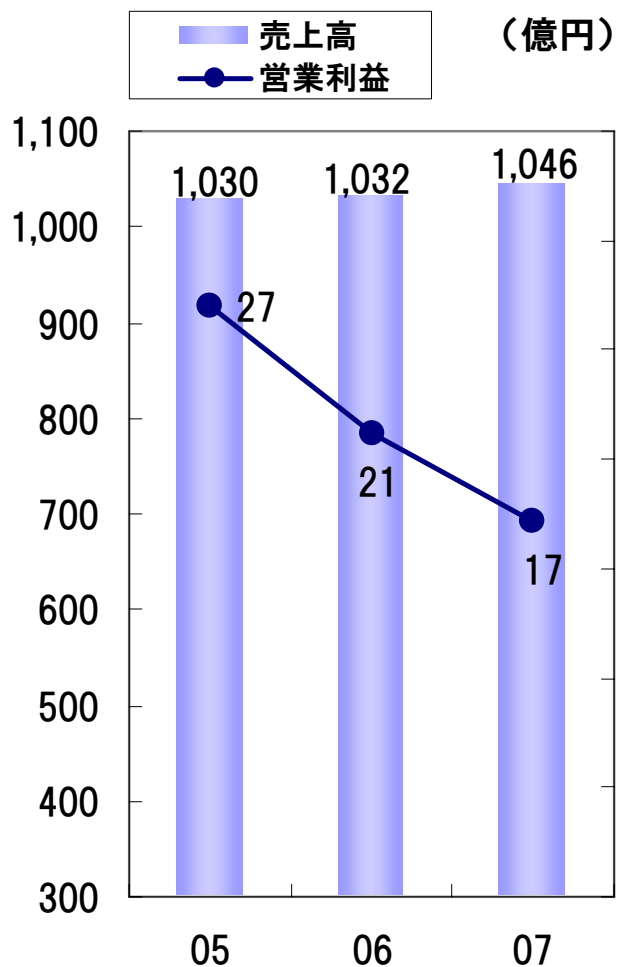
環境・機能材事業



セグメント別収益変動

I. 2007年度 決算実績

繊維事業



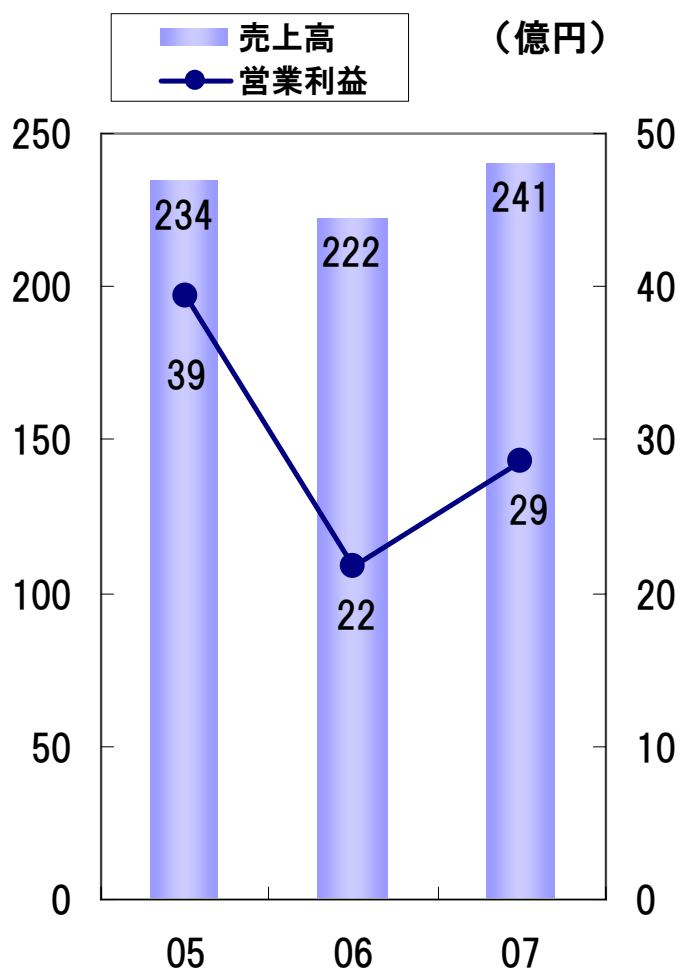
合成繊維	増収減益	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ナイロン、ポリエステル繊維ともに原燃料価格高騰の影響で減益 ◆ ポリエステル繊維は全体的に売上は増加基調（短繊維が堅調）価格改定が十分に進捗せず ◆ ビニロン繊維はFRCの輸出伸長（アスベスト代替）
天然繊維	収益横ばい	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 特需ユニフォームが収益に貢献 ◆ 一般衣料の市況悪化 ◆ 原燃料価格高騰、中国元高による採算の悪化

(億円)	売上高			営業利益		
	06年度	07年度	増減	06年度	07年度	増減
ユニチカファイバー	365	382	+17	6.4	1.2	▲5.2
ユニチカテキスタイル	225	215	▲10	0.1	1.0	+0.9

セグメント別収益変動

I. 2007年度 決算実績

生活健康・その他事業



生活健康	収益改善	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康補助食品は減収 ◆セラミド、アラビノース等食品機能素材の大手ユーザーでの採用が進む ◆メディカル事業は抗血栓性カテーテルの収益が伸長
その他	増収増益	<ul style="list-style-type: none"> ◆マンション販売が好調に推移 ◆営業用不動産のスポット収益は概ね横ばいで推移

※その他事業
 不動産関連(マンション販売、賃貸、営業用不動産開発)
 設備技術、情報システム 等

2008年度 決算予想

Ⅱ. 2008年度 決算予想

(億円)	07年度 実績	08年度 予想	増減
売上高	2,347	2,450	+103
営業利益	116	130	+14
経常利益	80	90	+10
当期純利益	16	40	+25

◆前年比 増収増益を予想

- ・高分子事業を中心として製品価格改定が浸透し採算改善
- ・高機能樹脂、機能材料分野での拡販
- ・環境事業、繊維事業での収益改善 等

◆通期での原燃料価格高騰の影響は▲15億円程度を想定 (引続き価格改定とコストダウン等でカバーしていく)

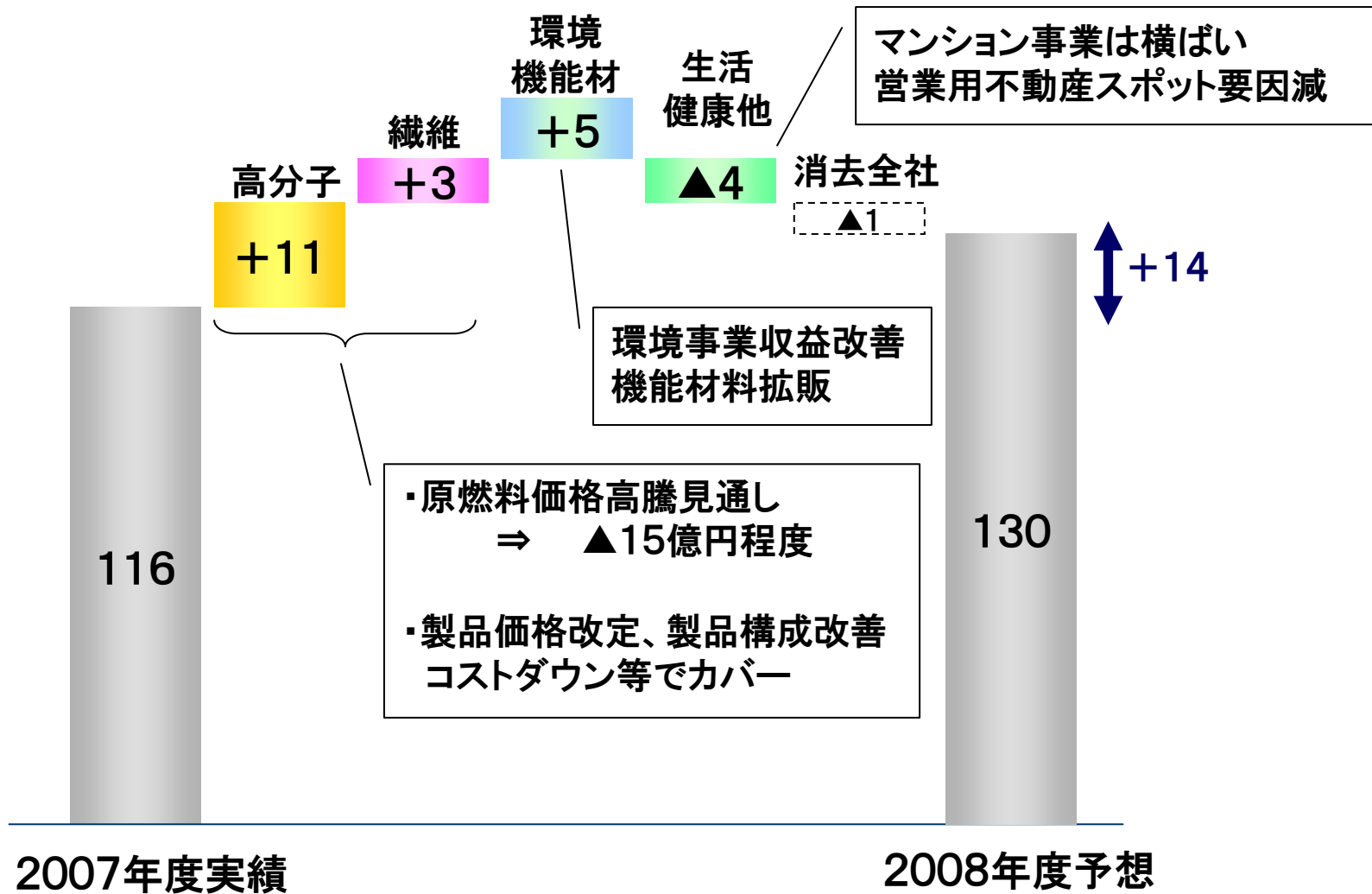
セグメント別収益変動予想

Ⅱ. 2008年度 決算予想

(億円)	売上高			営業利益		
	07年度 実績	08年度 予想	増減	07年度 実績	08年度 予想	増減
高分子	709	765	+56	71	82	+11
環境・機能材	352	385	+33	32	37	+ 5
繊維	1,046	1,050	+ 4	17	20	+ 3
生活健康・その他	241	250	+ 9	29	25	▲4
消去・全社				▲33	▲34	▲1
合計	2,347	2,450	+103	116	130	+15

営業利益増減(セグメント別)

Ⅱ. 2008年度 決算予想



設備投資等の状況

Ⅲ. 今後の課題等

(億円)	06年度 実績	07年度		08年度	
		実績	前年比	予想	前年比
減価償却費	66	65	▲2	69	+5
設備投資	57	72	+14	81	+10

設備投資内訳 (億円)	06年度 実績	07年度 実績	08年度 予想
高分子	25	19	24
環境・機能材	11	20	12
繊維	14	15	34
生活健康他	7	16	11

- ◆機能材
反射材関連
- ◆繊維
ビニロン(FRC)

設備投資案件

- ◆ ビニロン繊維 生産能力(年間) 10,000t ⇒ 13,000t (2008年10月予定)
セメント補強用(FRC)向け(アスベスト代替材)
東欧、東南アジアなどの輸出向けを強化
- ◆ ガラス関連素材 ICクロス – 極薄クロスの強化
ガラスビーズ – 反射材向け生産能力増強

テラマック関連

年間需要量 2007年度 2000tレベルが視野に
⇒ 2008年度 3000~4000t

部門	販売量比	最近の採用例
フィルム	約50%	青果物パック、コンビニ食品容器用途 等
繊維	約25%	寝装用品、食品雑貨用途 等
樹脂・不織布	約25%	住宅照明器具、複合機ドラムカバー、ヘッドレストカバー 等

ご注意

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る決算発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。